

メキシコへのまなざし

とき・2/1(土)～5/11(日)

※ 会期中、一部作品の展示替えがあります。
前期:3/23(日)まで、後期:3/25(火)から

ところ・2階展示室

内容・1950年代の日本では、メキシコ美術が展覧会や雑誌を通じて盛んに紹介され、多くの美術家はその鮮やかな色彩、古代文明や革命の歴史と結びついた力強い造形表現に魅了されました。当館では、開館以来メキシコの近現代美術を収集してきましたが、その出発点には、50年代のメキシコ美術に対する熱いまなざしがあったと考えられます。本展では、メキシコに憧れた美術家の中から、福沢一郎、岡本太郎、利根山光人、芥川(間所)紗織、河原温の5人に焦点を当て、彼ら彼女らがどのようにメキシコを捉えたのかを考察します。また、当館のメキシコ美術コレクションを紹介し、その形成の歩みを振り返ります。



芥川(間所)紗織《大木に八サマレタ若い神》1956年
染色、布 世田谷美術館蔵

観覧料・一般900円(720円)、大高生720円(580円)

※ ()内は20名以上の団体料金
※ 中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料
※ 企画展観覧券(ぐるっとパスを除く)をお持ちの方は、併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

《関連イベント》

○担当学芸員によるギャラリートーク

とき・4/12(土)、5/4(日・祝) 各15:00から1時間程度
ところ・2階展示室／費用・企画展観覧料が必要です。

アーティスト・プロジェクト #2.08 松平莉奈 コードとモード

とき・2/1(土)～5/11(日)

ところ・2階展示室D／観覧料・無料

内容・現在活躍中の作家を紹介する企画。今回は関西を拠点に活動する松平莉奈(1989～)を紹介します。



松平莉奈《花輪》2024年 彩色、紙

コレクションノート

倉田弟次郎 《久伊豆神社》より

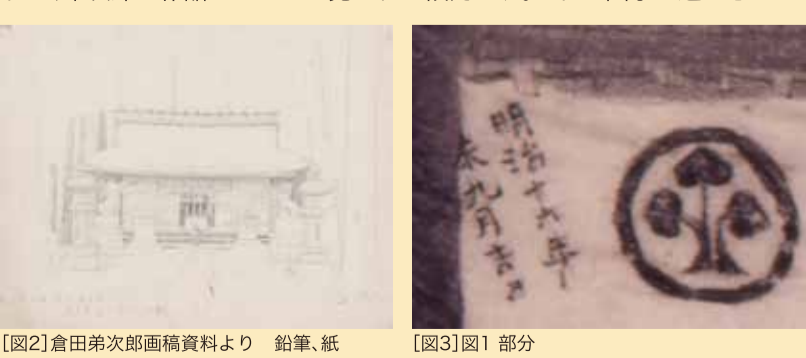
埼玉県ゆかりの画家、倉田弟次郎(1871-1894)は、遠縁の浅井忠に絵画を学び、弟の白羊と共に、多くの緻密なスケッチを残しています。彼らは、江戸時代まではほとんど着目されてこなかった。身近な武蔵野の地に目を向け、歩き回りながら、その風景を夢中で写しとっていったのでした。弟次郎の絵画を鑑賞するとき、私たちはその写実描写に驚き、弟次郎が紙上に作り出した窓を通して、明治の光景を覗き見ているような思いに駆られることもあります。それでは、倉田弟次郎とは「見たままの景色」を描く画家だったのでしょうか。今回は、MOMASコレクション(3/8～6/1)に展示中の《久伊豆神社》を通して考えてみましょう。

古いアルバムを見ているかのような、写実的なだけでなく、どこか生々しい神社の風景画、《久伊豆神社》[図1](以下、本作)。当館は本作の草稿も所蔵しています[図2]。草稿の下部に「明治廿四年六月四日写 久伊豆神社拝殿」と記されているので、本作も1891(明治24)年頃に久伊豆神社という場所を描いた作品と想定されます。久伊豆神社の名を持つ社は元荒川流域を中心に数多く存在しますが、神社幕や燈籠に立葵の紋が確認できることから、本作の舞台は越谷久伊豆神社(越谷総鎮守)である可能性があり*、この近辺に住んでいた時期もある弟次郎にとっては、なじみ深い場所であったことでしょう。

草稿と本作はほぼ同一構図ですが、見比べるといくつかの違いに気づかれます。まず本作には拝殿に神社幕が付けられていますが、草稿にはありません。また草稿では拝殿の前に人物が描かれていますが、本作ではその人物の居場所は空白にされています。さらに本作の一番の魅力ともいうべき、柔らかなタッチによる陰影表現が草稿にはありません。木々が落とす陰や、境内を抜ける風の動きさえ感じさせる陰影が表現されるのは本作のみで、草稿は飽くまでも境内の様子を把握するための線画によるスケッチ、といった風情です。

草稿と本作には、なぜこのような違いがあるのでしょうか。作品に記された文字に着目しましょう。本作の神社幕を拡大すると、立葵の紋の左隣に「明治十六年 末 九月吉日」との文字が読めます[図3]。1883(明治16)年9月といえば、弟次郎はまだ12歳頃であり、浅井に絵を学ぶ8年前に当たります。そもそも草稿に1891年の年記があることは、先ほど確認した通りです。このことから、弟次郎はまず1891年に久伊豆神社境内をスケッチし、この草稿を元に、幼少時に見た風景を思い出しながら本作を描いたのではないかと、という仮説が成り立ちます。《久伊豆神社》において画家の眼差しは、屋外の景色だけでなく、自らの内面にも向けられているかのようです。

ちなみに草稿と本作にはもう一つの違いがあります。草稿ではサイン等の書入れが、漢字で左から右に向かって書かれますが、本作ではサインが鏡文字で書かれているのです。鏡文字の書入れは、弟次郎の作品にしばしば見られる傾向です。これが画家の遊び心なのか、何らかの意味を持つ行為なのかは、明らかではありません。弟次郎の作品には、まだまだ謎が隠されているようです。(N.M.)



[図2] 倉田弟次郎画稿資料より 鉛筆、紙

[図3] 図1 部分

* 埼玉県神社庁 神社調査団「埼玉の神社 北足立・児玉・南埼玉」1998年、1208頁

※ 本紙記載の展覧会やイベントは、変更・中止となる場合があります。ご来館前に当館ホームページで最新情報をご確認ください。

MOMAS コレクション (収蔵品展)

とき・3/8(土)～6/1(日)

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※ ()内は20名以上の団体料金
※ 中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料
※ 5/28(水)～6/1(日)は、埼玉県美術展覧会(県展)開催中のため半額

◇ セレクション

シニャック ほか



ポール・シニャック《アニエールの河岸》1885年 油彩、カンヴァス

◇ アメリカの美術家たち

移動や越境をキーワードに、新天地あるいは故郷としてのアメリカ、芸術の実験場としての都市などの視点から、アメリカで活動した作家の作品をご紹介します。

《関連イベント》

○コレクション・トーク

内容・学芸員が展示作品から1点を選んで解説します。
費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。

① とき・4/27(日)15:00～15:30

担当学芸員・佐藤あゆか

作品・アンディ・ウォーホル《KIKU3》1983年

とき・6/7(土)～8/31(日)

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※ ()内は20名以上の団体料金
※ 中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料
※ 6/7(土)～6/19(木)は、埼玉県美術展覧会(県展)開催中のため半額

◇ セレクション

ピカソ ほか

◇ 特集:デビュー50周年記念 山本容子

山本容子の初めての個展から、今年で50年を迎えます。デビュー当時を振り返りつつ、1970年代後半から80年代半ばまでの初期作品をご紹介します。



山本容子《Papa's and Mama's (JUNE BRAND '75)》1975年
ソフトグラウンド・エッチング、セリグラフ、フロッタージュ、紙

ミュージアムショップおすすめ商品

ドイツ・エルツ地方のウルフガング・ヴェルナー工房で作る人気のヤジロベエシリーズのご紹介です。地元の木材を使って作られた木のぬくもりを感じるおもちゃです。机の上や本棚などに置いて優しくそっと揺らして楽しめます。明るく素朴な色合いと、かわいらしいモチーフが人気です。意外性のあるユーモラスな動きが見る人の心をなごませます。専用の木枠や木のベンチも付いていますので簡単に飾っていただけます。贈り物にもおすすめです。



本の虫 ¥4,180(税込)サイズ9.5cmH
魚釣り ¥4,180(税込)サイズ10cmH
白鳥 ¥3,300(税込)7cmH
木枠 ¥660(税込)7cmL
木のベンチ ¥770(税込)19.5cmL

アート体感ワークショップ MOMASのとびら

フリープログラム以外は、全プログラム事前予約制です。当館ホームページからお申込みください。

《5月のプログラム》

5月分のお申込みを4/1(火)から受け付けます。

○もますまつり ※事前申込み不要

とき・5/3(土・祝) 10:30～12:00、13:30～15:00

対象・どなたでも／費用・無料

※ ゴールデンウィークに行うフリープログラムの拡大版です。

○彫刻あらいぐま

とき・5/10(土) 13:30～15:00

対象・小・中学生+保護者／費用・無料

○み～っけ!

とき・5/31(土) 13:30～15:00

対象・4～6歳(未就学児)+保護者／費用・無料

《6月のプログラム》

6月分のお申込みを5/1(木)から受け付けます。

○フリープログラム ※事前申込み不要

とき・6/7(土) 13:30～15:00

対象・どなたでも／費用・無料

○み～っけ!

とき・6/14(土) 13:30～15:00

対象・4～6歳(未就学児)+保護者／費用・無料

《7月のプログラム》

7月分のお申込みを6/1(日)から受け付けます。

○みる+つくる

とき・7/5(土)、19(土) 13:30～15:00

対象・小・中学生／費用・500円

○フリープログラム ※事前申込み不要

とき・7/26(土) 13:30～15:00

対象・どなたでも／費用・無料

※ 応募が定員以上の場合、抽選とさせていただきます。

※ 開催日が複数あるプログラムは、いずれも同じ内容を実施します。複数の実施日にお申込みできますが、ご参加いただくのはそのうち1日のみとなります。

※ 各プログラムの実施時間等は変更になる可能性があります。詳しくはホームページをご覧ください。



「MOMASのとびら」のページ

https://pref.spec.ed.jp/momas/MOMASのとびら



一般展示室 (地階)

※ 日程・内容は変更される場合があります。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。

※ 展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

◆ 4/1(火)～4/6(日)

鈴木千賀子の世界展 …… 一般展示室3
第10回彩友会ボタニカルアート展 …… 一般展示室4

◆ 4/8(火)～4/20(日)

国川広 個展「遠い人々のポートレート」 …… 一般展示室1

◆ 4/8(火)～4/13(日)

第53回主体美術武蔵野作家展 …… 一般展示室2～3
第41回深水彩画展 …… 一般展示室4

◆ 4/15(火)～4/20(日)

第19回フォト・トルトゥーガ写真展「光と影の記憶—2025」 …… 一般展示室2

◆ 4/15(火)～4/27(日)

ありあるクリエイションズ芸術企画ヨシズミトシオ個展 …… 一般展示室4

◆ 4/22(火)～4/27(日)

中山たい子水彩画展 …… 一般展示室3

◆ 4/24(木)～4/27(日)

第48回女流工芸展in埼玉 …… 一般展示室1

◆ 4/29(火・祝)～5/4(日・祝)

第28回二科埼玉支部展 …… 一般展示室1～4

第73回 埼玉県美術展覧会 (県展)

とき・5/28(水)～6/19(木)

ところ・地階一般展示室、1階吹き抜け周り、2階展示室・講堂

観覧料・無料

内容・多くの出品点数を誇る県内最大の公募展です。審査によって選ばれた入選作品等、約2000点を展示します。

お問合わせ・埼玉県教育局 生涯学習推進課 TEL048-830-6925

企画展「メキシコへのまなざし」関連コラム

ソテーノとマンハーレス ふたつの《生命の樹》

埼玉県庁第二庁舎にメキシコ所縁の作品があるのをご存知でしょうか。南側エントランスホールのエレベーター脇に佇む《生命の樹》は高さ2メートルを超える巨大な民芸品です[図1]。見上げるほどの大きさと生命力豊かな色彩、さぞや人目を引いているかと思えば、様々な人が行き交う県庁舎の中では意外にもひっそりと溶け込んでいるようです。「生命の樹」はメキシコの先住民が持っていた宗教観とスペインからの入植者が伝えたキリスト教が融合した独自の造形とされ、メキシコでは民芸品として盛んに製作されています。本作は、メキシコを代表する陶芸の町メテパックの陶工、アルフォンソ・ソテーノによるもので、埼玉県と姉妹提携を結んでいるメキシコ州から20年以上前に贈られました。ソテーノの作品は一見、華やかな動物や民族衣装を纏う人物などメキシコならではのモチーフを散りばめています。細部を見るとキリスト教に由来する天使や鳩、メキシコ風の男性のようなキリストの姿[図2]、樹を挟んで並ぶアダムとイヴなどに気付くことができます。実は、開催中の企画展「メキシコへのまなざし」の初期の展示構想で、このソテーノの《生命の樹》を借用できないか、という案もありました。埼玉県とメキシコ州との姉妹提携や当館のメキシコ美術のコレクションについては前号のソカロ(2025年1月▶3月号)でご紹介していますが、それらが「メキシコへのまなざし」の出発点となりました。ソテーノの作品は埼玉とメキシコを結びつけるシンボリックな出品作として検討されましたが、陶という材質の重量や繊細な装飾による輸送の予測の立て辛さなどの理由から、残念ながら実物の展示は見送られることとなりました。

ところで、すでに企画展「メキシコへのまなざし」をご覧になった方は、展示室にある小さな《生命の樹》を発見したのではないのでしょうか。ソテーノの大作の出品は叶いませんでしたが、その調査の過程で、県庁に別の《生命の樹》があることが分りました[図3]。この《生命の樹》は2022年に埼玉県へ贈られたもので(通常は非公開)、作者のマルティン・ディアスマンハーレスは同じくメテパックの新進気鋭の若手作家です。ソテーノと比べると、建造物のように仕切られた枠の中により明快な場面が表現されています。例えば、下段の3人の人物は恐らく、キリストの生誕を礼拝する東方三博士と考えられます[図4]。小規模ながらも丁寧な物語描写や多彩な動物表現に見どころのある作品であり、調査を経て本展で出品できる運びとなりました。「メキシコへのまなざし」をきっかけに、ソテーノの《生命の樹》と並べて、いつか当館で展示できる機会があるかもしれません。(S.Y.)



[図1] アルフォンソ・ソテーノ《生命の樹》陶(低温焼成後、多色彩色) 埼玉県蔵



[図2] 図1 部分



[図3] マルティン・ディアスマンハーレス《生命の樹》陶(低温焼成後、多色彩色) 埼玉県蔵



[図4] 図3 部分